

瀬戸川講座のご案内

第3回 カニの昔話「ズガニの毛」とカニ捕り

実施日:10月5日(日)



地域でズガニと呼ばれているモクスガニは、川をさかのぼりながら成長する。上流の溪流では、立派な腕に毛をはやし大きく育ったズガニが見られる。

当日はまず、瀬戸川流域に伝わるカニの昔話を楽しめます。上流の川や沢でよく見られるサワガニとモクスガニが主人公のお話です。その後、瀬戸川でカニやエビを捕まえます。みんなのために、カニ捕り用のわなを仕掛けます。

令和7年度のテーマ「瀬戸川の生き物と昔話」

趣旨:瀬戸川にはたくさんの生き物が生息していて、川漁の対象であっただけでなく、流域の子ども遊び相手でもありました。親しみのある身近な生き物たちは、ふるさとの民話にも登場し、生き生きとしたキャラクターで不思議に満ちた自然の世界へ子ども達をいざなっていました。伝承の主演となった生き物の生きている姿に直にふれながら、心躍る物語を聞いてもらいます。また、毎回瀬戸川に入って、実際に生き物探しを体験します。

講師: 山田辰美(常葉大学名誉教授、生態学)と里の楽校の学生リーダーが指導します

会場: 稲葉交流センターと近くの瀬戸川

時間: 13時30分から16時00分

オープニング(20分)、昔話の鑑賞(40分)、川体験(60分)、振り返り(30分)

定員: 子ども(5歳以上小学6年生まで)25名程度(小学2年生以下は保護者の引率が必要)

参加費: 今回は無料です

持ち物: 飲み物、帽子、着替え、あればたも網、

魚捕り用の濡れていい靴(長靴は水が入る)

第1回 アカザの昔話「滝沢ばんばあ」と魚捕り 7月6日(日)終了

第2回 カッパ伝説「馬洗淵のカッパ」とその仲間 8月23日(土)終了



(令和7年9月20日作成)